



こまつ・としあき ●昭和50年12月生まれ。渡瀬字大戸中在住。小松重機土木(株)経営。趣味は釣りバイク。「やってみないと分からない」がモットー。

こういうのは得意ではないので、もう少し勉強しておけばよかったなと思いつつ...。私は山、川、自然が大好きで、いつも小学二年生になる愛娘と一緒に出かけます。春は虫とり網を持って田んぼにどじょう捕り。夏の昼間は雑木林にカブトムシ捕り、夜はホタルやカエル。秋はカブトムシを捕りに行った山にアケビを採り。さらに四月から十月の間は川にヤマメを釣りにと、一年を通して山と川にしか行っていないような気がします。娘も山や川が好きだと思ふのですが、何より私の方が大好きなのです。

村民【随想】リレー — (179) 小松敏明さん 山、川、自然

山に行けば山の匂い、川に行けば川の匂い、魚を釣れば生臭い、カブトムシを捕ればカブトムシ臭い。みんな独特の匂いがある自然が大好きです。最近、良い師匠に恵まれ管理釣り場で子どもたちと一緒に魚との駆け引きを楽しんでいます。これからもせわしくなく、のんびりと過ごすことが理想です。 これからの自然環境が良くなるだけでなくこれ以上悪くならないでほしいと願います。 次は芳賀正樹さん(渡瀬字西野沢)にバトンタッチ!

さめがわを 彩る集い 12

地域住民が一体となった景観づくりが始まる



宿ノ入花木を育てる会

湯坐和彌会長 / 会員 45 名

道少田地区の住民が中心となって景観づくりに取り組んでいる「宿ノ入花木を育てる会」。道少田一組から五組と中野団地の世帯、赤坂中野区長・副区長、有志数名が会員となっています。中野トンネルを抜けた宿ノ入地内の山林をメインに活動し、館山につながる美しい景観づくりをしようという地域の人たちの思いが形となりました。健康づくりの一つとして気軽に参加してもらえるような活動を心掛けています。 寄付を募って購入した苗木は約百五十本。植栽が終わり、これからは草との戦いとなります。 「花木を育て、手入れをしていくことは年月がかかります。この活動を次の世代につないでいくためにも、若い人たちにも参加してもらえようようにしていきたいです」と意気込みます。

Book

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します 鮫川村図書館 ☎ 29-1150

桜ほうさら

(宮部みゆき著、PHP研究所)



賄賂の汚名で自刃した父の真相究明にあたる次男・笙之介。桜の見える長屋に住み、人生の切なさ、ほろ苦さ、人々の温かさを体験していく。そして思いがけない結末が。

みどりのカーテンをつくらう

(菊本り子著、あかね書房)



もうすぐ暑い夏がやってきます。ゴーヤを使った緑のカーテンの作り方、その効果をやさしいことばで伝える絵本です。こどもと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

俳句

木蓮やバスの窓辺に遠ざかる 中井 恒峯
寒戻りとはいえ四月末の雪 北條素人坂
タラの芽に降り被さりし名残りの雪 松本 精一
ドクターへり着右往左往のつばくらめ 前田 縫子
置賜へ続く沿線桐の花 山本 恵子
母逝きて七年母は山櫻の化身 土竜 庵
スモモ咲く妹のような香りして 齋須 信子
小鳥追う猫の疾走若葉風 黒田 寿香
みぎひだり里は山吹花ざかり 鈴木 米子
白蓮や幽明隔つ空の蒼 山本五十鈴

短歌

純白の金の成る木の咲き終わり 朽ち花摘めば葉が照り返す 鈴木イミ子
言葉など遊びに使うわれでなし 他人の冗談は黙認しつつ 前田 初
孫 曾孫と恵まれて迎えし後期高齢 孫 曾孫と恵まれて迎えし後期高齢 孫 曾孫と恵まれて迎えし後期高齢 孫 曾孫と恵まれて迎えし後期高齢
身も凍る弥生の寒にも鶯の涙は解けて 今朝の初鳴き 佐藤 春枝
花物を咲かす季節となりけり庭に並べし 花鉢幾つ 矢吹 定子
一日を大事にせよと夫の声を運ばず野菜畑に 須藤 幸子
水野 珠子

何となく寂しき時は訪ねゆく友のきさくな声聴きたくて 関根 瑞恵
未だまだと己がおのれを励まして 鉄を担げば野風が迎う 溝井 清乃
今年亦暑さに耐えて作りゆく畑の野菜に魅せられにつつ 坂本 伊紀
為す事も限られおれどありがたく光らせてゆくわが一つ事 一平 子
一年祭夫の眠れる墓参りあの日の如くに桜の散りそむ 石井 幸子
咲き競う桜にこころ奪われて持参の手料理つい後回し 須藤シツ工
異常気象この先どんな現象がくるやも知れぬ休まるはなし 松本 一郎
吟行に参加の出来ずも我が庭に遙かな桜を楽しみとなす 前田喜三子
散歩にて好みの一枝手折り来し山吹の花部屋に香りぬ 藤田千代子
窓を開け望めば清明空青く桜の満開ころの弾む 関根ハナヨ
巡り来し桜の満開安らかに眠れる夫の墓地に思いの 関根 富久
長老の桜に召され永の旅歌友に惜しまれふたたび会えずの 板橋 源良
一ヶ月遅れし花も見事なり冬ののりこえ君子欄咲く 関根キヌ子
憤り越してあきれる原発事故二転三転浦島太郎か 矢吹 一二
満さん永久の旅立ち館山に吟行の歌友は別れを惜しむ 北條 平

若者の広場 No.102

Young Plaza

■今、夢中になっていることは何ですか？

最近、スノーボードに興味があります。周りの友達もやっているの、来シーズンは挑戦してみたいと思います。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

働きながら医療事務やリハビリ関係の資格を取りたいと思っています。そして、医療事務の仕事に就きたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村の人たちはあたたかいです。初対面でも親切

に接してくれます。あと、自然がいっぱいあって落ち着きます。特に仕事などから帰ってきたときにそう思います。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

もっと若い人が住みやすい村になってほしいです。例えば、住宅を増やしたり、村外の若い人に鮫川村を知ってもらえるようなイベントがあるといいと思います。あとは、ちょっとした買い物ができる場所や気軽に集まれる場所があるといいですね。

次は下重成美さん（渡瀬字関口在住）の予定です。

五十嵐彩未さん



いがらし・あやみ
平成3年10月20日生まれ 21歳
A型 てんびん座
趣味は買い物
赤坂中野字新宿在住

鮫川村の人はあたたかい

学校だより

(104)

鮫川小学校編

今年も元気いっぱい「さめっ子」たち！

今年度の鮫川小学校は、全校児童百八十二人でスタート。五月の「さめっ子」たちの活躍を紹介します。

■なかよし遠足



なかよし遠足

五月二日、楽しみにしていた「なかよし遠足」を行いました。一年生から六年生までの縦割り班ごとに「強滝」「青少年広場」「取上石」「館山公園」の四つの目的地へそれぞれ向かいました。下級生の手を取って歩く上級生の姿、色とりどりのお弁当を食べ、元気いっぱい走り回る姿が見られました。子どもたちは大満足の一日を過



(文・写真／鮫川小学校)

4年生から6年生による組体操

■春季大運動会
五月十八日に行った運動会では、五月晴れの下で「心を一つに パワー全開 さめっ子魂 見せつける！」のローガンのもと、全力で演技に励む子どもたちの姿が見られました。多くの団体種目が上学年と下学年との合同種目であり、教え、助け合うほほえましい姿が見られました。特に六年生の団長の掛け声や和太鼓に合わせた迫力満点の応援合戦、表現豊かな組体操は、鮫川小学校の歴史と伝統を感じさせてくれました。子どもたちにとつてすばらしい思い出の一ページとなりました。

ごしました。

鮫川村の昔話や小さいころに読んだお気に入りの物語などを紙芝居にしています。

高

年齢や子どもたちを対象に紙芝居の読み聞かせをしている日下直美さん。三春町出身で、五年前から明日飛学園のスタッフとして活動しています。読んでいる紙芝居は直美さんの手作り、これまでに約三十点を作り、読み聞かせを行っています。はじめは図書館から紙芝居や本を借りていましたが、もともと絵を描くことが好きだ

つた直美さんは自分で紙芝居を作ろうと思い立ちました。作る際には、昔の生活の様子などを調べたり、実際に舞台となった場所を訪れたり熱心です。また、物語が自然に流れるように、一枚一枚の場面移りや文章の長さなどにも気を付けています。物語に引き込まれるような独特の語り口調は、これまでの経験のたまものです。はじめは人

前が苦手な緊張していましたが、今では読み進めていくうちに登場人物になりきり、楽しんで読んでいけるといいます。「絵を描くことも読むことも大好きで、両方できることがうれしいです。紙芝居が完成したときとそれを聞いてくれる人がいるとき、二重のうれしさを味わえます」と紙芝居の魅力を教えてくださいました。



むらの名人・達人 Vol.11

紙芝居名人

日下直美さん

くさか・なおみ／赤坂東野字葉貴(明日飛学園)／25歳

作って聞いてくれる人がいる 二重のうれしさが味わえる紙芝居



大きな声でゆったりと読むように心がけています。